長橋中学校区　コミュニティ・スクール 通信
令和８年（2026年）６月22日（月）　第１号

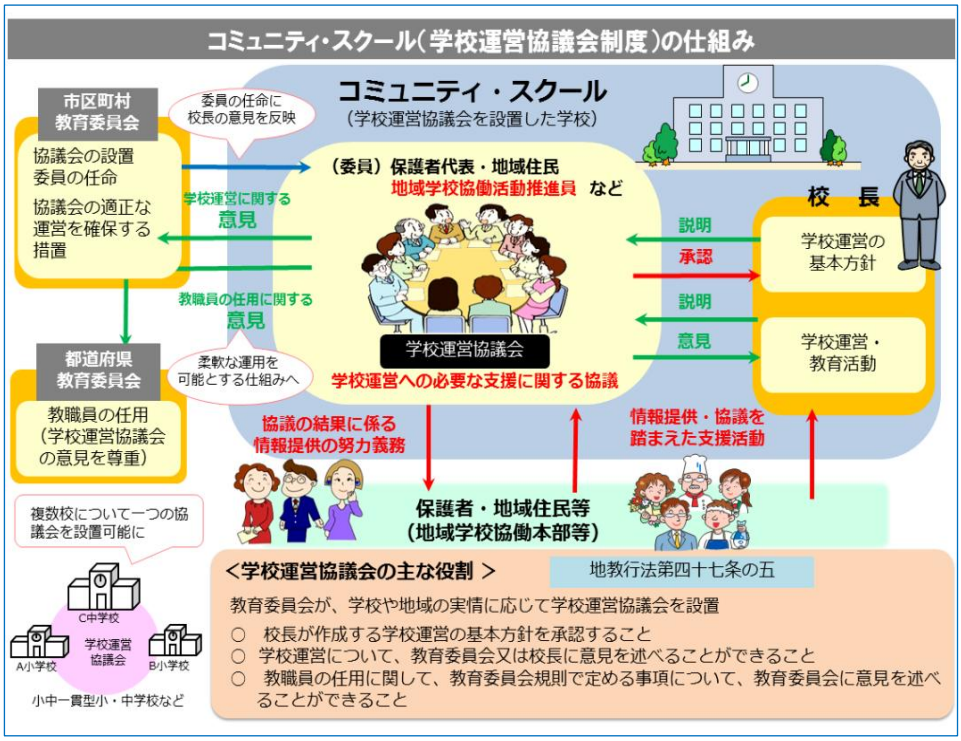
第１回学校運営協議会の内容について

１　学校運営協議会制度とは？

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

（文部科学省ＨＰより）



２　第１回の主な内容

５月２１日（木）、以下のとおり協議会を実施しました。

（委員の氏名等は次号で掲載します）

□任命状の交付

□小樽市学校運営協議会規則の一部改正について

□会長、副会長の選任

□今年度の活動計画

・各学校の今年度のグランド・デザイン

・小中一貫教育のグランド・デザイン

・小学校社会科見学、中学校職場体験等の取組

・防災にかかわる活動

・その他（図書館開放等）

□グループに分かれての熟議

第１回の熟議で出された主なアイディア

【今回のテーマ】

上記「活動計画」以外の、新たなアイディア（子どもたちが地域のためにできること、地域が学校のためにできること）」について、グループ協議を行いました。

「アイディアを出し合う場」とし、４校でやることの統一を図るものではなく、「出されたアイディアの中で、「まずは自校でやってみて、必要なら他校でもやってみよう」という交流の場」とすることを確認しました。

地域のためにできること

「中学校区でのお祭りなどを企画できないか。子どもや保護者による出店、授業で制作したものの販売など、地域の皆さんが喜んでくれるのではないか。」

「塩谷海岸の清掃に小中学生が既に取り組んでいる。今後、地域のゴミ拾いなど、子どもと地域の皆さんが一緒に活動できる取組があるとよいのでは。近年、このような取組が減っているが、地域には協力してくれる方がいると思う。」

学校のためにできること

「放課後の学習を教えてくれる方（ボランティア）を募る。 地域にはそのような人材がいそう。ピンポイントでできる人に声をかける方がよい。」

「学校花壇のお世話のお手伝いをしていただけると助かる。既に、何人か来ていただいている方がいる。」

「スキーの道具や柔道着など、家庭で使っていない物をバザーに出品したらどうか。」

「地域食堂を開けないか。」

「職場体験の受け入れ先を更に増やしたり、バスでの送迎を増やしたりできないか。」

地域に開かれた学校を目指して

「１月に中学校で図書館の地域開放を行った。地域の人も借りられるので、小学校での実施や、次回の実施の時期について検討してほしい。」

「中学校の体育祭や部活の大会など、応援することができたら嬉しい。」

第２回の協議会は７月22日を予定しています。